

# 高齢者生きがいに

## ATRが砂栽培施設



高齢者や障害者のための農作業研究を行う砂栽培農業施設(京都府精華町・国際電気通信基礎技術研究所)

京都府精華町の国際電気通信基礎技術研究所(ATR)が1日、農業と情報通信技術を組み合わせる高齢者の生きがい作りや障害者の就労支援につなげる「砂栽培農業施設」を公開した。ATRは「福祉や農業関係の新たなビジネス展開も見込める」としている。

施設は90平方メートルのビニールハウスで、内部は高床式の栽培設備があり、理いすでも作業がしやすい。土の代わりに砂と液体肥料を使う砂栽培には、栽培効率の向上や連作障害が少なくといった利点がある。

今後、施設内に湿度や温度を遠隔監視できる通信機器やセンサーと連動して安全に移動できる車いす型口

## 福祉ビジネス化も

ポットを備える。ATRが培ってきた技術によって、高齢者や障害者が農作業する際の負担を減らせるとする。

研究には日本砂栽培協会(大阪府四条瀬市)や大阪府内の農業法人、東レ建設(大阪府)が協力。具体的な内容は固まっていないが、精華町内の高齢者施設との連携を検討しており、来年度には本格的にスタートさせる。またATRは子会社の持つ販売設計技術を用いて、農業が人へのストレス軽減や機能回復などに果たす効果の分析も視野に入れている。

ATRの鈴木博之経営統括部長は「新たな研究分野として開拓し、将来のビジネス化も目指したい」としている。

施設は7、8日にわたり「ATRオープンハウス2013」で一般公開する。(江藤均)